

富山県事業系食品ロス・食品廃棄物等実態調査の結果について

1 調査の概要

- ・調査地域：富山県全域
- ・調査方法：郵送調査
- ・調査対象者：県内食品関連事業所約 7,500 事業所のうち 4,000 事業所
(富山県内の食品製造・流通・販売・提供に係る事業所)
- ・調査対象年度：令和 4 年度
- ・回収数：1,013、回収率：25.3%
- ・調査実施機関：(一財)北陸経済研究所
- ・推計方法：抽出した標本のデータから業種別（食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業の 4 業種）の従業者数あたり原単位を算出し、その原単位に業種別の県内全体の従業者数を掛け合わせ、業種別の発生量等を推計。

2 主な推計結果について

(1) 食品廃棄物・食品ロスの発生量について

①本県の事業系食品廃棄物の年間発生量は 9.0 万トンで、前回調査の 8.2 万トンから 0.8 万トン増加した。また、国全体 1,670 万トンの 0.54% となっている。

②食品ロスの年間発生量は 1.3 万トンで、前回調査の 1.6 万トンから 0.3 万トン減少した。また、国全体 279 万トンの 0.46% となっている。

③食品廃棄物に占める食品ロスの割合は 14.3% で、前回調査の 19.4% から 5.1 ポイント低下した。

また、全国の 16.7% より 2.4 ポイント低い。

④食品廃棄物の発生量については、4 業種（食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業）のうち食品製造業からの発生量が全体の 75.6% を占めて最も多く、前回調査（71.9%）、全国（83.0%）と同様の結果となった。（別表 1）

⑤食品ロスの発生量については、食品ロス発生量の総計に占める各業種別の発生割合が、食品製造業 40.2%、食品卸売業 12.9%、食品小売業 29.5%、外食産業 17.4% となっており、食品製造業からの発生量が最も多い。（別表 1）

食品廃棄物に占める食品ロス量の割合は外食産業が最も高く 50.6% となっているが、全国の 54.2% より 3.6 ポイント低く、前回調査の 64.2% から 13.6 ポイント低下している。

			食品廃棄物の年間発生量	食品廃棄物のうち可食部と考えられる量（＝食品ロス量）
富山県	H28	食品産業全体の発生・実施量(t)	82,185	15,929
		食品廃棄物発生量に対する割合	-	19.4%
	R4	食品産業全体の発生・実施量(t) ※カッコ内は全国に対する構成比	90,335 (0.54%)	12,953 (0.46%)
		食品廃棄物発生量に対する割合	-	14.3%
全国	R3	食品産業全体の発生・実施量(t)	16,698,000	2,790,000
		食品廃棄物発生量に対する割合	-	16.7%

(2) 再生利用等の実施について

⑥「再生利用の実施量」は 7.0 万トンで、前回調査の 6.2 万トンから 0.8 万トン増加した。再生利用の内訳は、その他が 3.5 万トン（前回調査 2.6 万トン）と最も多く、次いで炭化が 1.5 万ト

ン（前回調査 0.4 万トン）、次いで肥料化が 1.3 万トン（前回調査 1.8 万トン）、次いで飼料化が 0.3 万トン（前回調査 0.8 万トン）という順になっている。（別表 2）

⑦「再生利用等実施率」は 81.4%で、前回調査の 79.7%から 1.7 ポイント上昇したが、全国の 86.7%より 5.3 ポイント低い。また、各業種における再生利用等実施率は、食品製造業 91.6%、食品卸売業 75.0%、食品小売業 30.9%、外食産業 36.8%となっており、食品製造業、食品卸売業で高く、食品小売業、外食産業が低い。（別表 3）

(3) 食品廃棄物等の種類別の発生割合について

食品廃棄物等の発生の割合が最も高いのは「製造・調理くずのうち不可食部」が 81.8%（前回調査 76.1%）であり、次いで「製造・調理くずのうち可食部」が 7.0%（前回調査 6.7%）、次いで「消費・賞味期限切れや鮮度が落ちたことにより販売できなくなった商品」が 5.9%（前回調査 5.8%）という順になっており、順位は前回調査と同じであったが、不可食部の割合が 5.7 ポイント上昇している。

			①製造・調理くずのうち可食部	②製造・調理くずのうち不可食部	③消費・賞味期限切れや鮮度が落ちたことにより、製造・調理に利用できなくなった食材	④食用済みの食用油	⑤製品、検査品、サンプル	⑥製造過程での印刷ミス、流通過程での汚損・破損などによる規格外品	⑦定番かつ食品や販売期限切れ等のため返品され廃棄処分又は自社廃棄したもの	⑧消費・賞味期限切れや鮮度が落ちたことにより、販売できなくなった商品	⑨食べ残し	⑩その他
			発生量(t)	割合	発生量(t)	割合	発生量(t)	割合	発生量(t)	割合	発生量(t)	割合
食品産業全体	H28	発生量(t)	5,528	62,505	487	3,020	304	1,484	55	4,751	3,746	20
		割合	6.7%	76.1%	0.6%	3.7%	0.4%	1.8%	0.1%	5.8%	4.6%	0.0%
	R4	発生量(t)	6,326	73,850	969	1,595	210	358	137	5,287	1,323	281
		割合	7.0%	81.8%	1.1%	1.8%	0.2%	0.4%	0.2%	5.9%	1.5%	0.3%

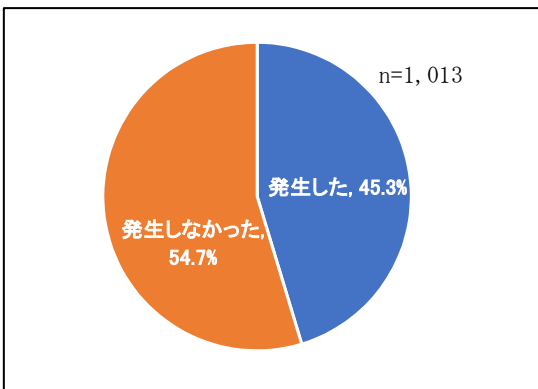
3 アンケート調査結果について

(1) 食品廃棄物等の発生状況について（令和 4 年度）

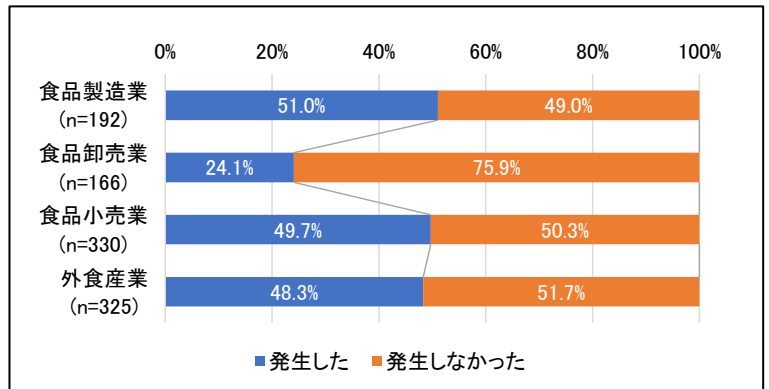
全体では「発生した」が 45.3%、「発生しなかった」が 54.7%となっており、「発生しなかった」割合が高くなっている。

業種別でみると、食品製造業、食品小売業及び外食産業で「発生した」割合が約半数となる一方で、食品卸売業では「発生しなかった」割合が 7 割強と高くなっている。

<全体>

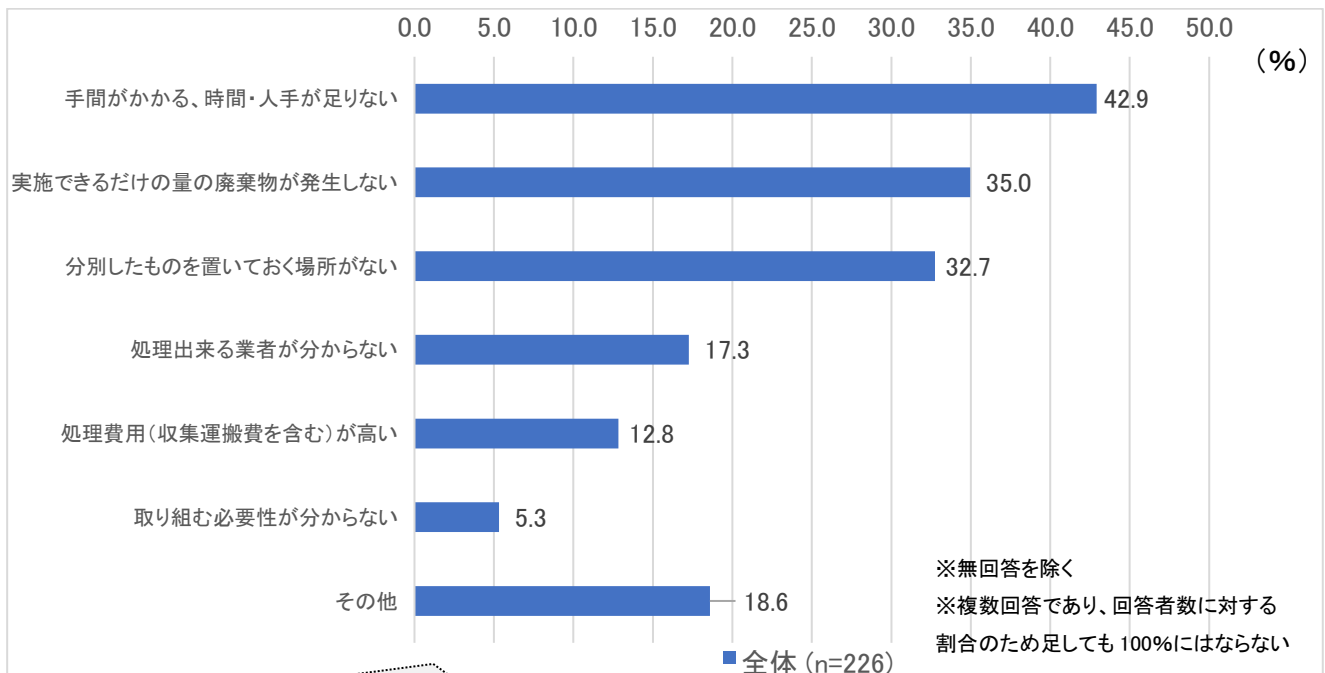


<業種別>



(2) 再生利用等の取組みを実施しない理由

全体でみると、「手間がかかる、時間・人手が足りない」が42.9%と最も多く、次いで「実施できるだけの量の廃棄物が発生しない」が35.0%、次いで「分別したものを置いておく場所がない」が32.7%の順になっている。

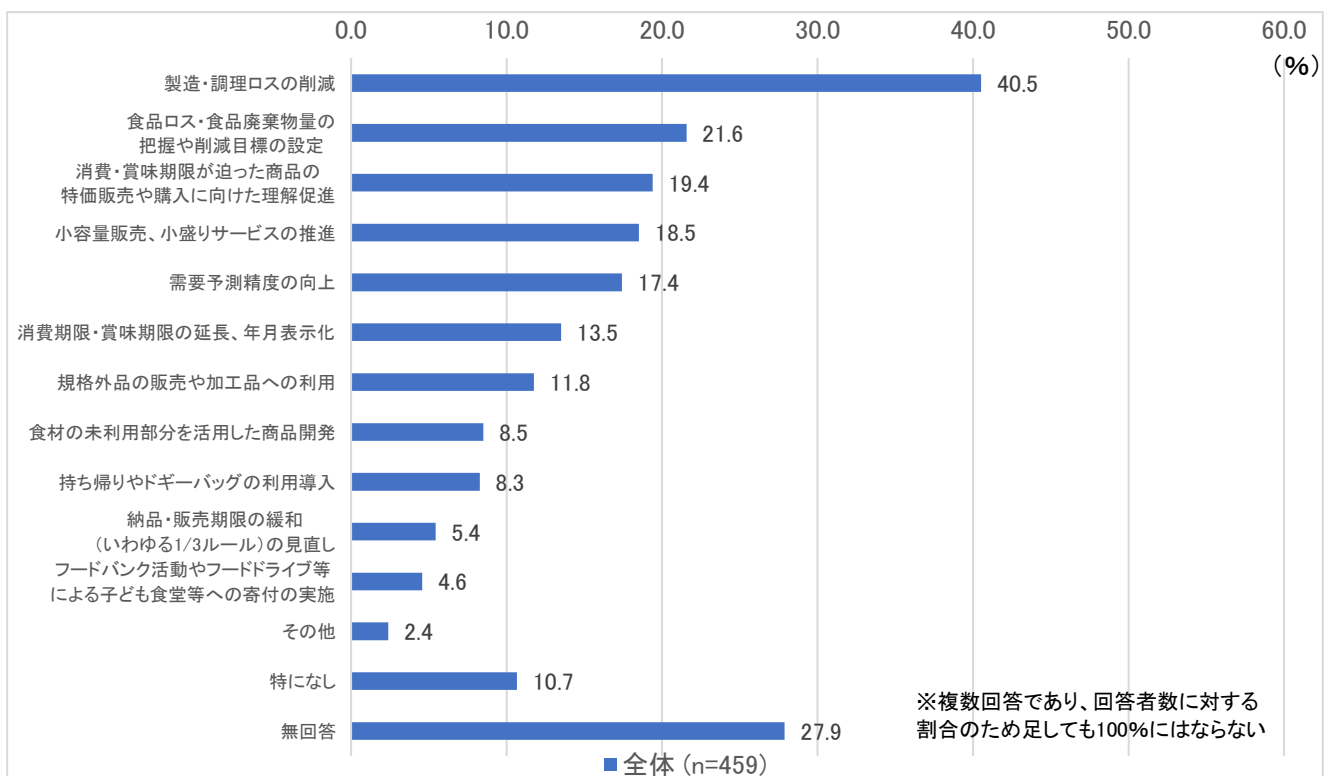


その他は「産廃業者に依頼している」や「委託業者なので施設側の指示に従っている」等

(3) 食品ロス・食品廃棄物の発生抑制に向けた取組みについて

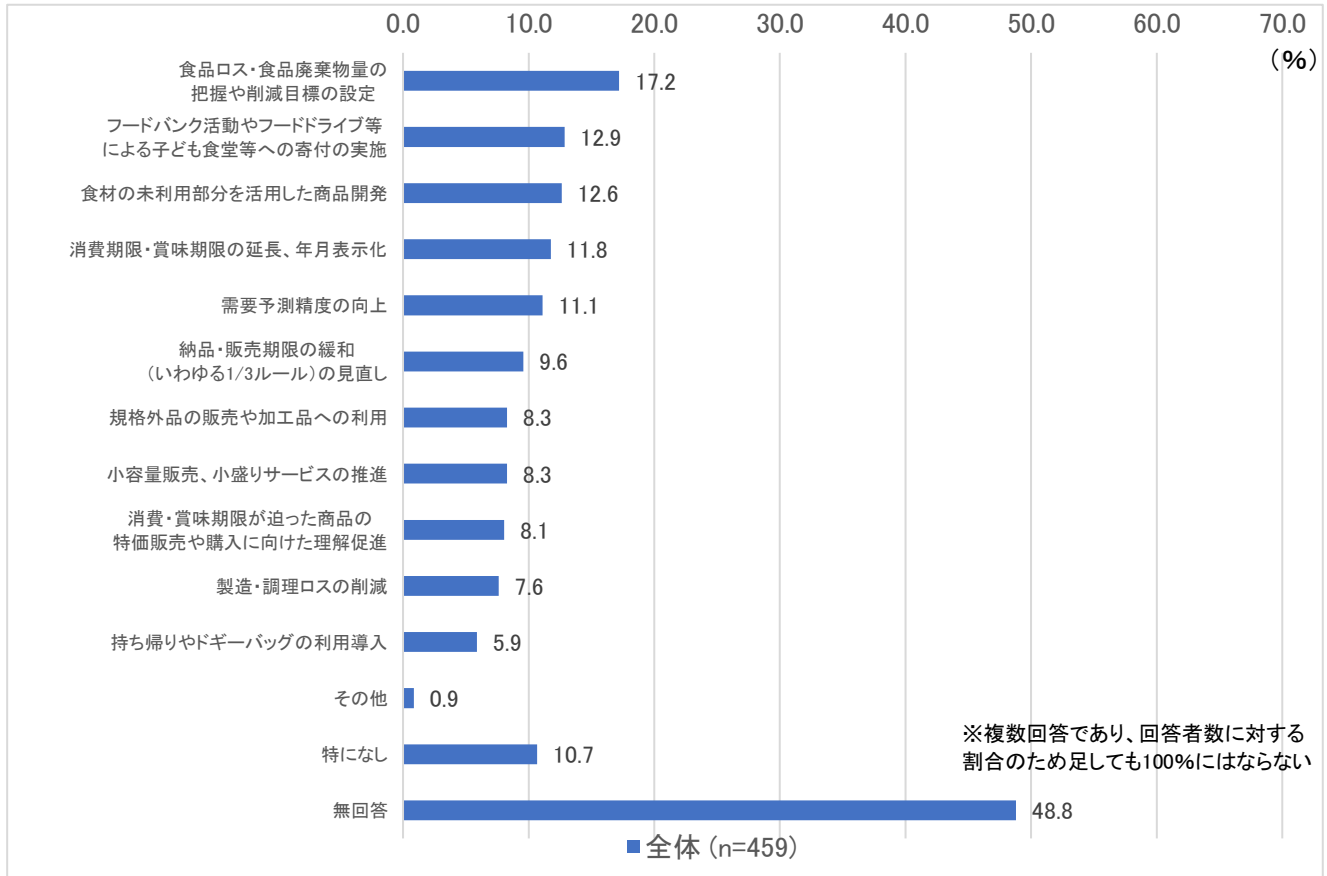
(ア) 既に取り組んでいるもの

全体では「製造・調理ロスの削減」が40.5%と最も多く、次いで「食品ロス・食品廃棄物量の把握や削減目標の設定」が21.6%、次いで「消費・賞味期限が迫った商品の特価販売や購入に向けた理解促進」が19.4%となっている。



(イ) 今後、取り組んでみたい、検討したいと思うもの

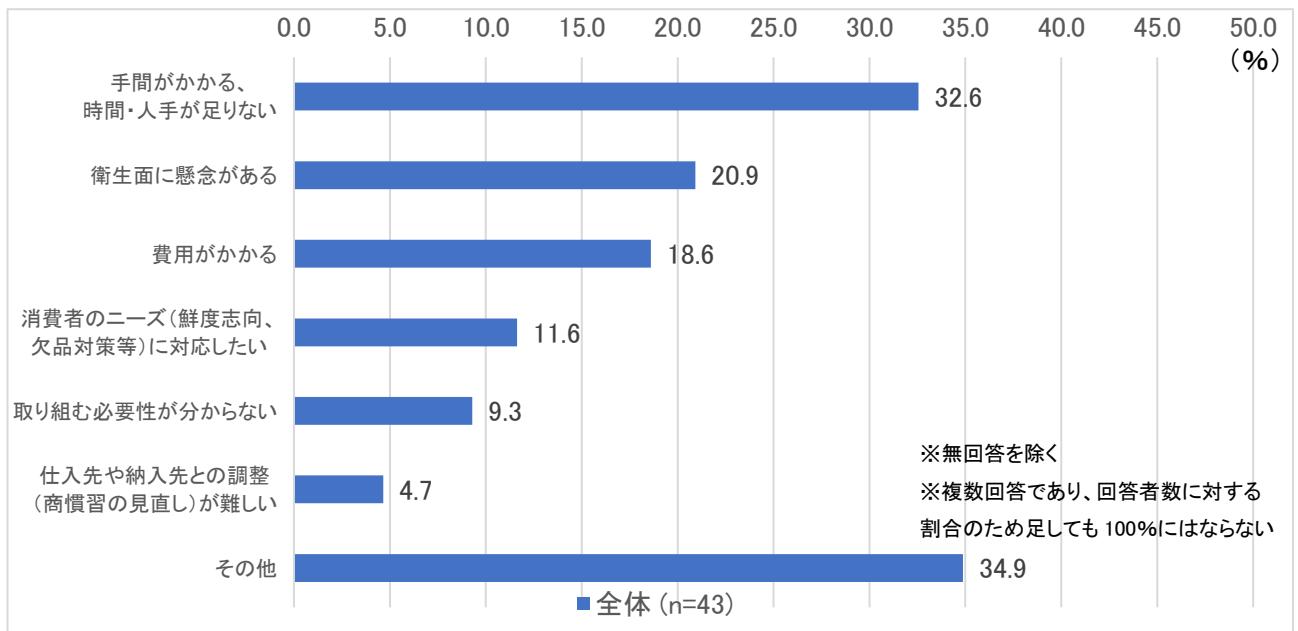
「食品ロス・食品廃棄物量の把握や削減目標の設定」が17.2%と最も多く、次いで「フードバンク活動やフードドライブ等による子ども食堂等への寄付の実施」が12.9%、次いで「食材の未利用部分を活用した商品開発」が12.6%という順になっており、約半数の事業者が「無回答」という結果であった。



(4) 食品ロス・食品廃棄物の発生抑制への取組みを実施しない理由

全体で見ると、「その他」が34.9%と最も多く、次いで「手間がかかる、時間・人手が足りない」が32.6%、次いで「衛生面に懸念がある」が20.9%となっている。

「その他」意見の内訳では、「量が少量」、「肥料化や自己消費に回している」「労務委託業務であり自社での判断は難しい」などの意見があがっている。



【別表1】

		食品廃棄物の年間発生量					
					食品廃棄物のうち可食部と考えられる量 (=食品ロス量)		
		富山県		国	富山県		国
		H28	R4	R3	H28	R4	R3
食品産業全体	発生・実施量(t)	82,185	90,335	16,698,000	15,929	12,953	2,790,000
	食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	100.0%	100.0%	19.4%	14.3%	16.7%
食品製造業	発生・実施量(t)	59,124	68,329	13,860,000	4,837	5,201	1,250,000
	食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	100.0%	100.0%	8.2%	7.6%	9.0%
	食品産業全体に対する割合	71.9%	75.6%	83.0%	30.4%	40.2%	44.8%
食品卸売業	発生・実施量(t)	6,310	8,808	222,000	1,358	1,666	130,000
	食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	100.0%	100.0%	21.5%	18.9%	58.6%
	食品産業全体に対する割合	7.7%	9.8%	1.3%	8.5%	12.9%	4.7%
食品小売業	発生・実施量(t)	7,748	8,732	1,141,000	3,954	3,827	620,000
	食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	100.0%	100.0%	51.0%	43.8%	54.3%
	食品産業全体に対する割合	9.4%	9.7%	6.8%	24.8%	29.5%	22.2%
外食産業	発生・実施量(t)	9,002	4,466	1,475,000	5,780	2,259	800,000
	食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	100.0%	100.0%	64.2%	50.6%	54.2%
	食品産業全体に対する割合	11.0%	4.9%	8.8%	36.3%	17.4%	28.7%

④, ⑤

⑤

⑤

⑤

【別表2】

			再生利用の 実施量 (※)	肥料化	飼料化	メタン化	油脂及び油 脂製品化	炭化して製造 される燃料及 び還元剤	エタノール 化	その他、左 記用途以外 の用途(※)	
食品産業全体	富山県	H28	発生・実施量(t)	62,096	17,675	7,768	3,917	3,343	3,681	4	25,708
			食品廃棄物発生量に対する割合	75.6%	21.5%	9.5%	4.8%	4.1%	4.5%	0.0%	31.3%
		R4	発生・実施量(t)	70,148	12,989	3,182	2,581	1,270	14,887	0	35,238
		食品廃棄物発生量に対する割合	77.7%	14.4%	3.5%	2.9%	1.4%	16.5%	0.0%	39.0%	
	国	R3	発生・実施量(t)	12,193,000	1,845,000	9,023,000	452,000	466,000	38,000	4,000	363,000
			食品廃棄物発生量に対する割合	73.0%	11.0%	54.0%	2.7%	2.8%	0.2%	0.0%	2.2%
食品製造業	富山県	H28	発生・実施量(t)	51,114	16,655	5,204	1,719	343	3,681	0	23,513
			食品廃棄物発生量に対する割合	86.5%	28.2%	8.8%	2.9%	0.6%	6.2%	0.0%	39.8%
			食品産業全体に対する割合	82.3%	94.2%	67.0%	43.9%	10.3%	100.0%	0.0%	91.5%
	R4	発生・実施量(t)	60,402	12,829	1,674	2,351	66	14,887	0	28,595	
		食品廃棄物発生量に対する割合	88.4%	18.8%	2.4%	3.4%	0.1%	21.8%	0.0%	41.8%	
		食品産業全体に対する割合	86.1%	98.8%	52.6%	91.1%	5.2%	100.0%	0.0%	81.1%	
国	R3	発生・実施量(t)	11,263,000	1,559,000	8,636,000	399,000	294,000	30,000	4,000	341,000	
		食品廃棄物発生量に対する割合	81.3%	11.2%	62.3%	2.9%	2.1%	0.2%	0.0%	2.5%	
		食品産業全体に対する割合	92.4%	84.5%	95.7%	88.3%	63.1%	78.9%	100.0%	0.0%	
食品卸売業	富山県	H28	発生・実施量(t)	5,913	880	1,910	470	1,791	0	0	862
			食品廃棄物発生量に対する割合	93.7%	13.9%	30.3%	7.5%	28.4%	0.0%	0.0%	13.7%
			食品産業全体に対する割合	9.5%	5.0%	24.6%	12.0%	53.6%	0.0%	0.0%	3.4%
	R4	発生・実施量(t)	6,605	9	1	0	16	0	0	6,579	
		食品廃棄物発生量に対する割合	75.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	74.7%	
		食品産業全体に対する割合	9.4%	0.1%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	18.7%	
国	R3	発生・実施量(t)	148,000	63,000	40,000	6,000	21,000	0	-	18,000	
		食品廃棄物発生量に対する割合	66.7%	28.4%	18.0%	2.7%	9.5%	0.0%	0.0%	8.1%	
		食品産業全体に対する割合	1.2%	3.4%	0.4%	1.3%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
食品小売業	富山県	H28	発生・実施量(t)	4,096	14	130	1,595	1,073	0	0	1,284
			食品廃棄物発生量に対する割合	52.9%	0.2%	1.7%	20.6%	13.8%	0.0%	0.0%	16.6%
			食品産業全体に対する割合	6.6%	0.1%	1.7%	40.7%	32.1%	0.0%	0.0%	5.0%
	R4	発生・実施量(t)	2,683	150	1,506	0	971	0	0	56	
		食品廃棄物発生量に対する割合	30.7%	1.7%	17.2%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.6%	
		食品産業全体に対する割合	3.8%	1.2%	47.3%	0.0%	76.5%	0.0%	0.0%	0.2%	
国	R3	発生・実施量(t)	450,000	130,000	173,000	38,000	98,000	8,000	0	3,000	
		食品廃棄物発生量に対する割合	39.4%	11.4%	15.2%	3.3%	8.6%	0.7%	0.0%	0.3%	
		食品産業全体に対する割合	3.7%	7.0%	1.9%	8.4%	21.0%	21.1%	0.0%	0.0%	
外食産業	富山県	H28	発生・実施量(t)	973	126	524	133	137	0	4	49
			食品廃棄物発生量に対する割合	10.8%	1.4%	5.8%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.5%
			食品産業全体に対する割合	1.6%	0.7%	6.7%	3.4%	4.1%	0.0%	100.0%	0.2%
	R4	発生・実施量(t)	458	1	2	230	217	0	0	8	
		食品廃棄物発生量に対する割合	10.3%	0.0%	0.0%	5.2%	4.9%	0.0%	0.0%	0.2%	
		食品産業全体に対する割合	0.7%	0.0%	0.1%	8.9%	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
国	R3	発生・実施量(t)	332,000	94,000	174,000	9,000	53,000	1,000	0	1,000	
		食品廃棄物発生量に対する割合	22.5%	6.4%	11.8%	0.6%	3.6%	0.1%	0.0%	0.0%	
		食品産業全体に対する割合	2.7%	5.1%	1.9%	2.0%	11.4%	2.6%	0.0%	0.0%	

※ 全国数値には農林水産省調査の「きのこ類の栽培のために使用される固形状の培地」及び「再生利用以外」を計上

【別表3】

			食品廃棄物の年間発生量	再生利用等の実施量				廃棄物として処理した量			
				再生利用の実施量(※)	熱回収への実施量	減量した量	計				
食品産業全体	富山県	H28	発生・実施量(t)	82,185	62,096	2,772	664	65,532	16,652		
			食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	75.6%	3.4%	0.8%	79.7%	20.3%	⑦	
	R4	発生・実施量(t)	90,335	70,148	2,212	1,191	73,551	16,785			
		食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	77.7%	2.4%	1.3%	81.4%	18.6%	⑦		
	国	R3	発生・実施量(t)	16,698,000	12,193,000	470,000	1,807,000	14,470,000	2,229,000		
			食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	73.0%	2.8%	10.8%	86.7%	13.3%	⑦	
食品製造業	富山県	H28	発生・実施量(t)	59,124	51,114	2,758	586	54,458	4,666		
			食品廃棄物発生量に対する割合	100%	86.5%	4.7%	1.0%	92.1%	7.9%		
		食品産業全体に対する割合	71.9%	82.3%	99.5%	88.2%	83.1%	28.0%			
		発生・実施量(t)	68,329	60,402	1,233	971	62,606	5,724			
	R4	食品廃棄物発生量に対する割合	100%	88.4%	1.8%	1.4%	91.6%	8.4%	⑦		
		食品産業全体に対する割合	75.6%	86.1%	55.7%	81.5%	85.1%	34.1%			
		国	R3	発生・実施量(t)	13,860,000	11,262,000	465,000	1,782,000	13,509,000	351,000	
				食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	81.3%	3.4%	12.9%	97.5%	2.5%	
食品産業全体に対する割合	83.0%	92.4%	98.9%	98.6%	93.4%	15.7%					
食品卸売業	富山県	H28	発生・実施量(t)	6,310	5,913	0	0	5,913	397		
			食品廃棄物発生量に対する割合	100%	93.7%	0.0%	0.0%	93.7%	6.3%		
		食品産業全体に対する割合	7.7%	9.5%	0.0%	0.0%	9.0%	2.4%			
		発生・実施量(t)	8,808	6,605	0	0	6,605	2,203			
	R4	食品廃棄物発生量に対する割合	100%	75.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	⑦		
		食品産業全体に対する割合	9.8%	9.4%	0.0%	0.0%	9.0%	13.1%			
		国	R3	発生・実施量(t)	222,000	148,000	4,000	12,000	164,000	58,000	
				食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	66.7%	1.8%	5.4%	73.9%	26.1%	
食品産業全体に対する割合	1.3%	1.2%	0.9%	0.7%	1.1%	2.6%					
食品小売業	富山県	H28	発生・実施量(t)	7,748	4,096	0	1	4,097	3,651		
			食品廃棄物発生量に対する割合	100%	52.9%	0.0%	0.0%	52.9%	47.1%		
		食品産業全体に対する割合	9.4%	6.6%	0.0%	0.2%	6.3%	21.9%			
		発生・実施量(t)	8,732	2,683	12	0	2,696	6,037			
	R4	食品廃棄物発生量に対する割合	100%	30.7%	0.1%	0.0%	30.9%	69.1%	⑦		
		食品産業全体に対する割合	9.7%	3.8%	0.6%	0.0%	3.7%	36.0%			
		国	R3	発生・実施量(t)	1,141,000	450,000	0	6,000	456,000	685,000	
				食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	39.4%	0.0%	0.5%	40.0%	60.0%	
食品産業全体に対する割合	6.8%	3.7%	0.0%	0.3%	3.2%	30.7%					
外食産業	富山県	H28	発生・実施量(t)	9,002	973	14	77	1,065	7,937		
			食品廃棄物発生量に対する割合	100%	10.8%	0.2%	0.9%	11.8%	88.2%		
		食品産業全体に対する割合	11.0%	1.6%	0.5%	11.7%	1.6%	47.7%			
		発生・実施量(t)	4,466	458	966	220	1,644	2,821			
	R4	食品廃棄物発生量に対する割合	100%	10.3%	21.6%	4.9%	36.8%	63.2%	⑦		
		食品産業全体に対する割合	4.9%	0.7%	43.7%	18.5%	2.2%	16.8%			
		国	R3	発生・実施量(t)	1,475,000	332,000	0	8,000	340,000	1,135,000	
				食品廃棄物発生量に対する割合	100.0%	22.5%	0.0%	0.5%	23.1%	76.9%	
食品産業全体に対する割合	8.8%	2.7%	0.0%	0.4%	2.3%	50.9%					

※ 全国数値には農林水産省調査の「きのこ類の栽培のために使用される固形状の培地」及び「再生利用以外」を計上